

11209その他の金属製品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	16~17	掃除の時間中に、休憩室のエアコンのフィルター掃除しようとしたところ、近くに脚立がなかったため、折りたたみの会議テーブルに乗って掃除をしていたところ、テーブルの脚が重みでたたまれ、滑って右手を強く打った。	58	1	379	10 ~ 29
2	2017	12	8~9	工場にて仕上がり品を運び出すとき、ハンガーに足が引っ掛かって転び、床（コンクリート）に膝から転んで打ちつけた。	53	2	911	1~ 9
3	2017	12	14~15	第一工場の大掃除中、受入場から塗料庫前の置き場へ社内用パレット（約15kg）を持ち上げて運搬していた。その際、運搬経路の足元にパレットが置いてあったことに気づかず、躓いて転倒した。	44	2	379	100 ~ 299
4	2017	12	9~10	本社玄関入口の屋根部分にはしごをかけて、はしごにのぼった状態で窓ガラスにホースで水をかけていた。はしごが横に倒れそうになったので、後ろに飛び降りたところ、足から地面に着地し、かかとを受傷した。（2~3m程の高さから飛び降りた。）	58	3	371	—
5	2017	12	10~11	ビニールハウス用ドアの梱包ラインにて、梱包が終了した製品（ダンボール箱）をラインに流す作業中、ラインのローラーを回している歯車に右手の軍手が引っかかり、右手薬指を挟んでしまい、引き抜いた際に先端部を切断した。	61	7	224	50 ~ 99
			15~	工場にて、アルミ板を移動する際に誤ってアルミ板を落として				10

12	2017	11	22～ 23	給食を納品の際、奥の荷物を手前に引き出すため荷台に乗り作業後、飛び降りた時に左足を痛めた。	22	2	413	～ 99
13	2017	11	13～ 14	工場B棟（ショット機と開先機の間）でショット作業を始めたが、先に別サイズの製品を仕上げるためH248×124?4800×20本を動かそうとワイヤーを通したところ、片方のフランジ部が台木ギリギリの所に置いてあり、片手を上部に手を掛け、もう片手でワイヤーを取る際、荷崩れがおき両足にH形鋼6本が落ち下にあったH鋼に挟まれ右足を骨折した。	23	4	521	—
14	2017	11	14～ 15	自社の作業内で4tトラックの荷物を降ろしの時に、荷台から降りる際に、右足をあおりに乗せ、左足を工場内の常搬にかけて荷台から下りる時に、左足が常搬から滑り左側の手とお尻を床に落ち強打した。	60	1	391	1～ 9
15	2017	10	10～ 11	第1工場A棟において、ビルトエイチ部材（以下BH）を溶接形鋼組立装置（以下組立機）にて組立作業中、BH用フランジ材（平板W350×t18×L9000）をローラーコンベア上に送材し、ストッパー治具（以下治具）を左手で支えフランジ端部を治具に合わせようとした時、クレーンにて組立機に送材してきたBTがフランジに接触。その弾みでフランジ材が手前に動き、治具を支えていた左手第三指が治具とフランジ材に挟まれ被災した。	23	6	211	50 ～ 99
16	2017	10	14～ 15	当社工場内にてステンレス平板の折曲作業中、機械裏側にあるガイドの確認をするために左手を機械裏側にいれたところ、上から降りてくる金型に挟まれた。	30	7	154	—
17	2017	10	9～ 10	自社工場内にて、鉄板切断加工作業中、手が滑り、切断板を左足親指の上へ落としてしまい、負傷した。	23	4	921	1～ 9
18	2017	10	19～ 20	加工ライン後工程にて通常作業中、穴明機前から高周波焼入工程へ移動する際に足元に敷いてあるマットにつまずきバランスを崩して転倒した時、仕掛品が入っているポリ容器に背中を強	37	2	417	30 ～ 49

				打した。				
19	2017	10	15～ 16	取引先岸壁解体作業場において、スクラップ（H鋼長さ7m・重さ1.5から2t）のガス切断作業中の被災である。スクラップをガス切断機で切断した際、切断物が左足甲に落下してきて、左足中足骨を骨折した。	45	4	159	10 ～ 29
20	2017	10	11～ 12	工場内で鋼材の運搬のためクレーンで吊り下げた鋼材が倒れ、足に乗ったため左足のすねを骨折した。	67	5	521	1～ 9
21	2017	10	9～ 10	工場内で横になっている材料（H型鋼H400×200サイズサイズ長さ約3m）を起こす作業中に、天井クレーンの位置を確認せずクレーン操作し、上げてしまい吊り上げた時に、本人腹部に材料が当たってしまった。	22	6	521	1～ 9
22	2017	10	11～ 12	フープ工場で閉鎖型フープの溶接作業をしている時に、左側の鉄筋をクランプする際、鉄筋を掴んでいた右手が滑り、クランプされる部分に、右手の小指を挟んでしまった。	31	7	159	10 ～ 29
23	2017	9	11～ 12	工場内にて寸法確認作業をしていた時、製品1（高さ3M巾3M程度の箱型）に万力で上下2ヶ所固定していた鋼材（H鋼100×100×6×8/2M程度）が、固定がはずれ倒れかかってきた、避けようとしたが、背後にあった製品2（高さ1M巾2M程度）との間に右足をはさまれた。	34	5	521	10 ～ 29
24	2017	9	13～ 14	アングル材2本を天井クレーンで定盤の上に移動していた、2本目のアングル材の移動が終わり、吊り具のクランプをはずしクレーンを巻き上げたところ、同じフックに掛かっていた別の吊り具が、当該アングルに引っかかり定盤の上から落下し、左足の上に当たった。	55	4	372	50 ～ 99
25	2017	9	15～ 16	被災者は作業応援に行き、3Fバースで通路の路面塗装作業を屈んだ体勢で行っていた、作業終了後、立ち上がった際に足が攣ったような症状があり、そのまま後方へ座り込んだ。その際、左足股関節が脱臼したような感覚になり、身動きが取れな	30	19	921	50 ～ 99

				くなった。				
26	2017	9	11～ 12	立てかけていた製品を台車にのせる時、作業手順を間違え製品が倒れて負傷した。	65	1	221	10 ～ 29
27	2017	9	10～ 11	倉庫内を移動中、階段を踏み外し、3段目から床まで落ちた時に、左足首をひねったものである。	53	1	413	30 ～ 49
28	2017	9	10～ 11	当社工場内で、水圧転写機の点検中に、機械の下の床が濡れていて、足を滑らせて転倒し、右腕の手首周辺と腰を打撲した。	57	2	416	10 ～ 29
29	2017	9	16～ 17	事務所の置き場にて、溶接の作業をしていたところ、火花が飛び散り誤って左足にやけどを負い、その後火傷が化膿して腫れたので受診した。	29	11	332	10 ～ 29
30	2017	9	14～ 15	工場ペンチ職場に於いての作業中、チャックを閉めようとした際、スイッチを切らずチャックハンドルを入れ、それに左手を置いたままペンチを動かすペタルに足を乗せてしまいチャックハンドルが回転し、その勢いでチャックハンドルの先が、左手親指と人差し指の間に入り、穴があき切れてしまいました。	53	7	159	50 ～ 99
31	2017	8	14～ 15	工場内にて、濃縮機下部部分（3900W×1880H×830D）を作業用踏み台（600W×900H×830D）に乗り、塗装し終えて作業用踏み台から降りようと3段目中2段目から誤って足を踏み外し転倒し、後頭部を打撲した。	35	2	371	10 ～ 29
32	2017	8	15～ 16	工場において、油圧シリンダー（15kg）の表面を清掃するため、作業台へ移す際、そのシリンダーを足の甲へ落下させた。安全靴を履いていたが、ガードの（先芯）のないところに落としたため、右足の甲を負傷した。	31	4	612	50 ～ 99
			9～	塗装ヤードでクレーン作業中に、H鋼を移動する際、吊り材の				10

33	2017	8	10	かかりが不十分なまま吊り上げてしまい、約50cmの高さから落下し、その反動でH鋼が横転し、足の上に落下した。	34	4	372	～ 29
34	2017	8	16～ 17	組立作業中、部品を持ち上げる時に足元からふらつき、安全靴を履いていたにもかかわらず、左足甲に部品が落ち、骨折した。	41	4	521	10 ～ 29
35	2017	8	15～ 16	鋸盤加工場で、端材処理作業をしていたところ、フラットバー（16mm×60mm、L150mm）を固定するため、油圧クランプの可動範囲内に、材料をセットする右手人差し指が入った状態で、油圧クランプのスイッチを左手でスイッチONにし、右手人差し指を油圧クランプで挟んで負傷した。	35	7	159	50 ～ 99
36	2017	8	10～ 11	工場内で、ホイストにより機械のカバー（1500×800、200kg）を吊り上げたとき、カバーの一部が機械の本体に引っ掛かったため、手で外したところ跳ね上がり、機械とカバーの間に右示指を挟み切断した。	60	7	211	1～ 9
37	2017	8	11～ 12	当社工場において、プレス機で厚さ3.2mmの鉄製パイプコーナーの曲げ加工中、普段から作業時は安全装置のスイッチを入れて作業するよう指導していたが、被災者は、気持ち之急いでいたため、効率が悪いという理由で、安全装置のスイッチを切って作業していた。プレスした材料を早く取り出そうとペダルを踏んだ直後、右手を出してしまい、安全装置を切っていたため、プレス機に右手示指を挟まれ負傷した。	48	7	154	10 ～ 29
38	2017	8	11～ 12	2.8t天井クレーンで鋼材を置く際に、隣に置いてあった鋼材の台木にぶつけ、その鋼材が落下した。その落下した鋼材の長さが通常（4000mm）よりも長く4700mmであったため、足に近く、落下と同時に避けたが、左足に鋼材が衝突した。	56	5	211	50 ～ 99
39	2017	8	13～ 14	本社工場においてプレス作業中、誤ってフットスイッチに触れてしまい、機械の作動により右手第3・4・5指をプレス機に挟み骨折、及び中指・薬指の先端を切断した。	71	7	154	1～ 9

40	2017	8	10~ 11	工場内で長さ1400mmのH鋼6本をクレーンにて移動させている時にH鋼を支えていた左手をH鋼に挟んでしまい薬指を骨折したものである。	31	7	521	1~ 9
41	2017	7	8~9	第3工場内において、被災者が鉄板（長さ2.4m、幅18cm）約40枚をクレーンで運搬作業中に、荷崩れを直そうとしたところ崩れかけた鉄板に押されて転倒し、後方に敷いてあった鉄板で後頭部を強打して死亡した。	38	4	611	10 ~ 29
42	2017	7	11~12	弊社工場内において、H鋼（高さ300mm×幅150mm）を切断する作業中、寸法を測ろうとH鋼の上に上がり移動中、誤って、右足を踏みはずし、右膝に全体重がかかったのが負傷の原因である。（当日は様子を見て、終業時刻まで仕事をしたが、痛みが続いた。）	40	1	521	1~ 9
43	2017	7	16~17	H鋼の上に置いていた製品の仕上げをするために登ろうとした。H鋼に手を掛けた時にH鋼のバン木が不安定だったためH鋼が、たおれ、両足を挟み骨折した。	18	7	521	1~ 9
44	2017	7	9~10	工場内においてグラインダーを使用して溶接ビートのG作業中一旦休止して仕上がり具合を見ていたとき、惰性で回転していた刃に左手の手首が触れ切傷を負った。	53	8	153	30 ~ 49
45	2017	7	13~14	会社で廃パレットを左足で踏み固定し、チェーンソーで切断している時に、誤ってパレットに打ち込んである釘にチェーンソーの刃が接触。左方向に弾かれ左足の土踏まずの辺りに接触し切ってしまった。	44	8	136	1~ 9
46	2017	7	13~14	事務所内の2階から1階に下りる階段を清掃中に足を滑らせ約1.5m下に転落し、左足踵を骨折した。	49	1	413	10 ~ 29
47	2017	7	11~12	工場内にて、鉄筋の切断作業に従事していたところ、鉄筋を移動させる際に、鉄筋の間に右手の中指及び親指を挟んでしま	43	7	521	10 ~

55	2017	6	11~ 12	<p>当社工場内で、製品を入れる鉄製の缶（60cm×60cm×60cm、重さ50kg）が、通路（幅2.5m）上に出っ張っていたので押し戻そうとして、右足を後方に出して屈んだ時、従業員が運転するフォークリフトが左方から移動してきた事に気付かず、又、フォークの運転手も直前に足が出された事に気が付かず、踵を轢いてしまった。さらに右足の親指が反っていたため、安全靴の中の鉄カバーが指に食い込み負傷した。</p>	30	7	222	10 ~ 29
56	2017	6	16~ 17	<p>被災者と作業リーダーの2人でクッションストッパーの交換作業中、クッションストッパーの軸を固定する板の溶接作業をしていた。終わりに近づいてきたので、現認者が道工具や奥にあった残材を天井クレーンで片付けようとした。天井クレーンの電源をリモコンで入れ、クッションストッパーがまだ吊っていたことに気づかず、巻き上げたところ、ワイヤーが破断して、被災者の背中に倒れた。</p>	39	4	521	1~ 9
57	2017	6	13~ 14	<p>材料を載せる台（腰の高さ）の上で材料を梱包している結束線を切る為に、台の上に登り、切った後、その台から後ろ向きに降りようとした際に、残っていた針金に右足が引っかかり、右足が着地できず、尻から落下した。その際に、右手小指側の手の平をぶつけ骨折した。台から落下した時に遠くの方まで飛ばされた為、そこにあった材料を溜めるラックの先端に左腕から引っかかり、左腕内側が切れ、7針を縫った。</p>	69	3	371	10 ~ 29
58	2017	5	14~ 15	<p>会社工場内で、1m50cm四方の金網ドア枠の仕上作業中、作業台の上ののったドア枠の反対面の仕上作業をするためにドア枠をひっくり返そうとしたところ、ドア枠が右脇腹に当たり、食い込んだ状態でドア枠を作業台に置いたところ、右肋骨を損傷した。</p>	45	6	521	1~ 9
				<p>本社工場プレス作業場で穴抜き作業中、穴抜き後の製品を右手で網パレ容器に移そうと製品を持った時、左横にある穴抜き前</p>				50

59	2017	5	13～ 14	の製品置き場の製品が落ちて来たのに驚き、足踏みペダルに足をかけたまま作業をしていたため思わず踏んでしまい、プレス機が作動してパンチホルダーと製品の間で左手中指を挟み開放骨折した。	57	7	154	～ 99
60	2017	5	16～ 17	鉄骨製品の溶接作業が終わったので下向溶接用回転機から、製品を降ろすため玉掛けをしようとして、回転機の上部蓋を外して製品の上（高さ1.6m）に乗った際、製品がぐらついて下に落下した。	29	1	521	50 ～ 99
61	2017	5	11～ 12	当工場内において鋼材をクレーンで移動させようと吊り上げたところ、床に2段積みで置いてあった鋼材の上段に当たり、その鋼材が左足の安全靴の上の部分に落ちて、甲の部分を骨折した。	58	5	521	10 ～ 29
62	2017	5	15～ 16	制御盤（W1650×H2120×D600、重さ約200kg）の塗装をする前にシンナーで汚れを落とす作業中に、しゃがんでウエスをシンナーで濡らしている時、制御盤が倒れて右肩に当たり、左足を巻き込むようにひねって倒れ、左足を骨折した。	22	5	612	10 ～ 29
63	2017	5	13～ 14	工場内を徒歩で移動していた際、床にあったコードに躓き、転倒しそうになった為左足をついて体を立て直そうとしたところ、左足首に激痛が走り、そのあと左足首に力が入らず歩けなくなった。	59	19	351	10 ～ 29
64	2017	5	10～ 11	作業場で、H鋼のガス切断の作業をしている時に、隣で作業をしていた別の労働者が切断したH鋼が崩れて腰に当たり骨折した。	29	4	521	10 ～ 29
65	2017	4	11～ 12	工場内においてD16、7500切43本R5100を2本ずつ加工している際、鉄筋の先端に気をとられ材料を持っていた左手親指がローラーに挟まり、慌てて手を引きぬいた為、左手親指の爪と指の先端から1cmぐらいの所で切れた。	25	7	159	30 ～ 49
				自社工場内にて、天井クレーンによりH形鋼				

66	2017	4	9～ 10	(600×200×11×17) をクランプで吊って横に倒そうとしていたところ、クランプの挟み方が逆だったため引っ張りすぎた状態になり、台からH形鋼が滑り、左足の上に落ちてきた。	67	4	211	1～ 9
67	2017	4	9～ 10	パイプ (1.5m) の内径寸法の検査工程で、ゲージをパイプ内に通しストンとゲージが落ちれば良品と識別する作業中、ゲージがパイプを叩き付けたためゲージを取り外そうとした際、叩き付けたパイプ先端部分と地面に右手中指が挟まり、更にゲージが反動で損傷部位に落下した。	50	7	521	30 ～ 49
68	2017	4	15～ 16	工場でプレス加工中に金型に人差し指を挟んだ。	64	7	159	1～ 9
69	2017	4	10～ 11	休憩時間に作業場付近で配線につまずき転倒した。(配線は手元が暗かったため本人が準備した。)	80	2	417	10 ～ 29
70	2017	4	15～ 16	以前に負傷した手手中指が炎症を起こし膿が溜まっており、数日痛みがあった手をかばいながら工場内にてドラム缶の下ろし作業をしていた所、トラックの荷台の扉とドラム缶に左手中指を挟んでしまった。	36	7	611	10 ～ 29
71	2017	4	9～ 10	出荷製品 (バラ) を作成中に、作成している製品 (バラ) を積み込むトレーラーが入庫したタイミングで出荷製品 (バラ) の作成ミスが発生したため、慌ててミスの発生した製品の対処に向かう際、製品上から転落してしまった。第二工場内 (製品置場) において、出荷製品の準備作業中に梱包された製品を注文で指定された本数へ組み直す。作成ミスが発生 (出荷品と在庫品を逆に梱包してしまった) したため、製品の上面を移動しながら、目的の製品の上面に到着予定。長さ9Mの製品上から長さ7Mの製品上へ移動するつもりが9Mよりも2M短い事に気付く事が遅れ転落してしまった。	32	1	521	30 ～ 49
			16～	ドリルを使用して鋼管をカットする際に、鋼管を押さえていた				1～

72	2017	4	17	左手をドリルに巻き込まれて受傷した。	78	7	152	9
73	2017	4	10~ 11	当社メッキ加工作業場内にて（メッキ加工最終工程）、水洗い後、メッキ付着量を計量するため、台秤で測定しようとした際に発生した。クレーンで吊った状態から安定した状態（前倒しして平にする）で測定するため、手前に倒そうとしたとき、なまし鉄線1本で吊っていた鉄板重ね8枚（1000mm×1300mm×450mm重量470kg）が倒れ、作業員右足を圧迫し負傷した。原因は、加工製品の重量に対するなまし鉄線の選定と使用状況、および作業員数を増やすなどの状況判断の甘さにある。	67	5	521	1~ 9
74	2017	3	11~12	鉄工所工場内を歩いて移動中、作業のため準備しておいたキャブタイヤ（太めの電線）に足が引っかかり転倒し、地面に敷いてある鉄板に左膝を強打し骨折した。	68	2	417	1~ 9
75	2017	3	15~16	工場内段ボール置場で、棚横で置いている上段にある段ボールを取り出す作業を行っていた。移動式作業台（高さ約2m4輪キャスター付き）を棚に平行に置き、作業台に登り段ボールを取り出そうとした。しかし、必要な段ボールが登り階段寄りであったため、階段寄りの位置で段ボールを取り出そうとした。その際に車輪止めをしていなかったせいで作業台が動き、バランスを崩して階段側に落下し、右前頭出腫と右手首を骨折した。	59	1	371	50 ~ 99
76	2017	3	14~15	平面研磨機を操作中にテーブルの上が油で汚いためウエスで拭こうとしたため砥石に巻き込まれ、指の先端を砥石に削られ切断してしまいました。通常はワークを置くテーブルの掃除はダスター刷毛で掃除するため、ウエスは使わない。どうしてもウエスで掃除したい場合は必ず砥石を止めた状態で掃除するが、今回は本人が砥石を止めていたと思い込んでいたため、手をテーブルに入れてしまった模様である。	44	8	153	10 ~ 29

77	2017	3	17~18	1t車の荷台から降りる時に荷台に積んでいたパレットに巻いてあったラップで足を引っ掛けてしまい、左足から落ちてヒザを強打した。	44	1	221	10 ~ 29
78	2017	3	11~12	当社工場内において、シャッターの部品のスラット（長さ6.7m、巾10cm、重さ2枚1組で10kg）の洗浄作業中、高さ70cmの台車に10枚ほど積まれていたものが滑り落ちてきて、右太ももと右足首を受傷した。	66	4	362	10 ~ 29
79	2017	3	21~22	工場内のNC機にて、ベアリング保持器部品加工中、製品（完成品）を洗浄した後、箱に詰めて台車へ積み上げる際（荷物寸法50×60×45cm、重量20kg、製品150個入り）、台車を洗浄器にはりつけて置かず、腕の力だけで作業をしたため、腰をひねった。	32	19	921	30 ~ 49
80	2017	3	16~17	当社工場内でステンレスの薄い板の切断作業中、左手でディスクグラインダーを持ってステンレスの板を切断していたときに、グラインダーがはねて右手の人差し指に当たり、切傷を負った。	54	8	153	1~ 9
81	2017	3	8~9	工場内でクレーンとクランプ1個を使いCT鋼1本を運ぶ作業中、CT鋼が落下し、後方へ倒れ後頭部を打ち負傷した。	47	4	372	10 ~ 29
82	2017	3	11~12	当社加工場内で加工材料を移動中、吊り上げた材料が振られ足にあたり、その反動でふらつき後ろにあった機械に足をぶつけた。	50	6	211	1~ 9
83	2017	2	16~17	電着工場内の乾燥炉上に設置している脱臭装置の異音発生原因であるVベルト交換時に発生した。安全カバーを外し、異音箇所がVベルトであることを特定した後、装置の停止ボタンを押下したが、完全停止をする前にVベルトの裏側にゴム手袋をしたまま不用意に触れた結果、VベルトとVプーリー間に巻き込まれ、	44	7	121	30 ~ 49

				受傷した。				
84	2017	2	0~1	金型交換業務にて、金型を天井クレーンで吊り、設備上でクレーンを停止させ、設置場所の微調整をクレーンで行った際に、金型に添えていた右手小指を金型と設備の間に挟んでしまった。	43	7	211	50 ~ 99
85	2017	2	21~22	作業中、スライドがON状態でありスピードコントロールOFF状態になっていたため停止ボタンを押さずにON状態にしてしまったため、スライドが動いて右手人差し指を挟んだ。	51	7	159	50 ~ 99
86	2017	2	11~12	溶接作業場で溶接作業後立ち上がり歩きかけた時床に置いてある鋼材に躓き足を挫いた。	46	3	521	1~ 9
87	2017	2	15~16	倉庫内の清掃中、箱内の清掃を終えて、箱より飛び降りた時に、左足首に激痛を感じた。	54	3	416	1~ 9
88	2017	2	16~17	当社工場内で、金具のバフ研磨作業中、レース機のバフを交換する為、レース機のモーターのスイッチを切ったが、回転するベルトが止まるのを確認せずベルトを掴んでしまった為、回転するベルトとプーリーの間に左手薬指が挟まれ骨折した。	35	7	153	1~ 9
89	2017	2	2~3	当社の工場内で機械を使用し鉄パイプの切断を行っていた。鉄クズが発生したため取り除こうと掴み引っ張った際、右手人差し指の付け根を切創した。	41	8	159	30 ~ 49
90	2017	2	9~10	カッターでバンドを顔側に切った際に、鼻に軽い切傷と勢いで、左手人差し指、4針を縫う怪我をした。	27	8	529	1~ 9
91	2017	1	14~ 15	工場内にて、出庫のため鋼材の整理をしていたところ、その鋼材がずれ落ち、左足の甲の辺りに当たり負傷した。	69	4	379	10 ~ 29
92	2017	1	10~ 11	資材置場にて資材の整理作業（下請）中、重機のキャタピラーから飛び降りた際、足元の不安定な所に落ち、左足踵を負傷した。	67	3	142	—

93	2017	1	10～ 11	現場内で、加工途中品（1741mm×120mm、重さ800g）を持って移動中、進路上の足元に置いてあった樹脂パネル（500mm×40mm位）を踏みつけた所、樹脂パネルごと足を滑らせ、横向けに転倒し、左足を強打した。	66	2	529	100 ～ 299
94	2017	1	8～9	加工作業場にてボール盤を使用し、アルミの苗ラックの穴あけ作業をしていた。軍手をした状態で切り粉を取り除こうとした時、回転したままのドリルに軍手が巻き込まれ、右手薬指を切断した。	36	7	152	10 ～ 29
95	2017	1	9～ 10	被災者はグラインダーで加工、溶接してあった鉄板の出っ張りの仕上作業していた。グラインダーのコードを踏んでしまい、グラインダーが左足に落ち、左足甲を幅3cm、深さ1.5cm破傷したものである。	23	4	153	—
96	2017	1	17～ 18	本社工場内に於いて、鋸盤で切断されたパイプをパレットより下ろす作業（10kg～20kg、10本位）をした後、左手が痛み出した。以前に靭帯の損傷をしており、同じ所が痛んだ。筋肉の方は完治しているので、数日間は左手を使わないようにとの診断を受けた。	18	19	521	30 ～ 49
97	2017	1	9～ 10	工場内でトラック（4t）の荷台に積んであった鉄骨材（約500kg）を荷卸しするのに、鉄骨材に玉掛けをして一度少し天井クレーンで吊り上げたが、荷のバランスが悪いため玉掛けをやり直そうとしたが、天井クレーン操作者と息が合わず、左手の小指の先を玉掛けワイヤーと鉄骨材の間に挟まれてケガをした。	40	7	211	10 ～ 29
98	2017	1	9～ 10	当社工場内で鋼材コラム（□500×500×32、L5.5M）を2.8tクレーン2台で上を見ながら移動操作中、鋼材を置くためのマンホウ（角パイプ100×100、L2M）につまずき転倒した。その際に右手を床につき、右手橈骨遠位端骨折した。	39	2	521	30 ～ 49
				工場内において、ボール盤で丸パイプの穴開け作業中に、ドリ				10

99	2016	12	8~9	ルの表面に発生したキリコに左指が引っかかり、回転して革手袋が巻き込まれ、左指を負傷した。	47	7	152	~ 29
100	2016	12	15~ 16	工場内1階作業場にて、トラックから30cm角の段ボール箱を荷卸し作業中、段ボール箱を床に置いた時に胸部に痛みを感じた。	49	19	921	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。